

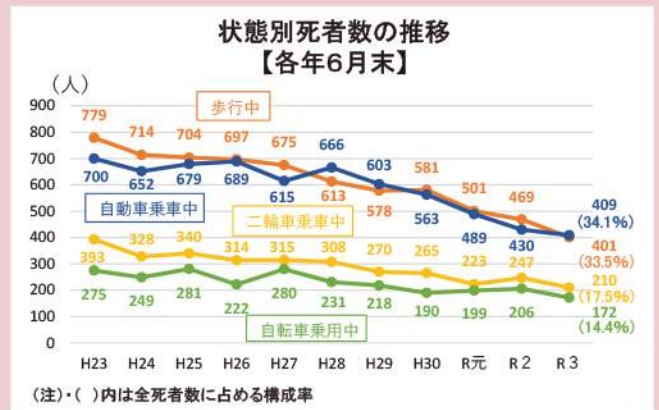
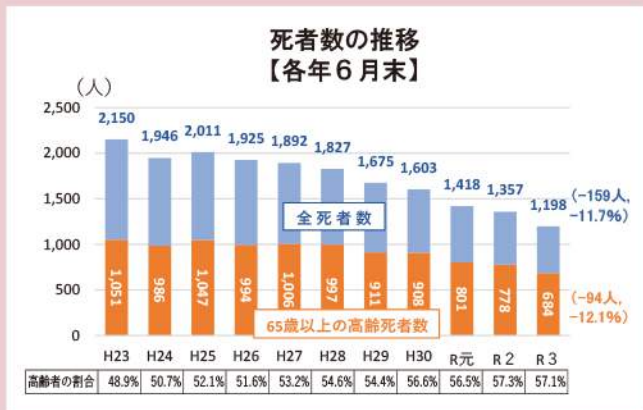
令和3年上半期における交通死亡事故の発生状況について

—警察庁交通局資料より—

交通事故死者数 1,198人 (前年比-159人 -11.7%)
 ・65歳以上の高齢者は684人 (前年比-94人 -12.1%)
 交通事故事件数 1,171件 (前年比-163件 -12.2%)

【状態別死者数】

- ・状態別死者数は、自動車乗車中は409人 (34.1%)、歩行中は401人 (33.5%) と共に 3 割を超えて多い。二輪車乗車中は210人 (17.5%)、自転車乗用中は172人 (14.4%)。
- ・対前年比では、自動車乗車中は-21人 -4.9%、歩行中は-68人 -14.5%、二輪車乗車中は-37人 -15.0%、自転車乗用中-34人 -16.5%と減少している。

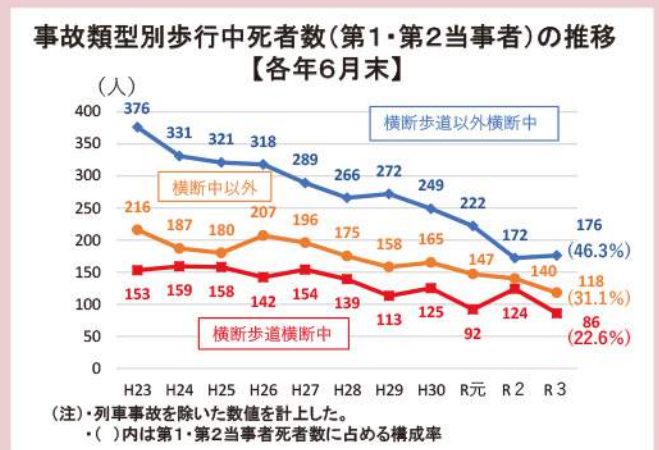
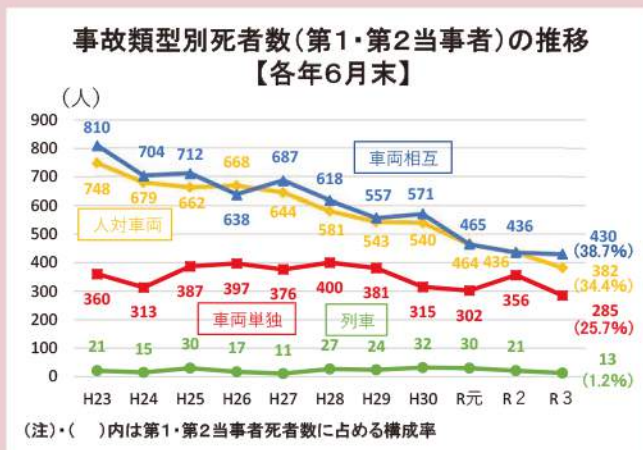


【事故類型別死者数】

- ・車両相互は430人 (38.7%)、人対車両は382人 (34.4%)、車両単独は285人 (25.7%)、列車は13人 (1.2%)。
- ・対前年比では、車両相互は-6人 -1.4%、人対車両は-54人 -12.4%、車両単独は-71人 -19.9%、列車は-8人 -38.1%と減少している。

<歩行中死者数>

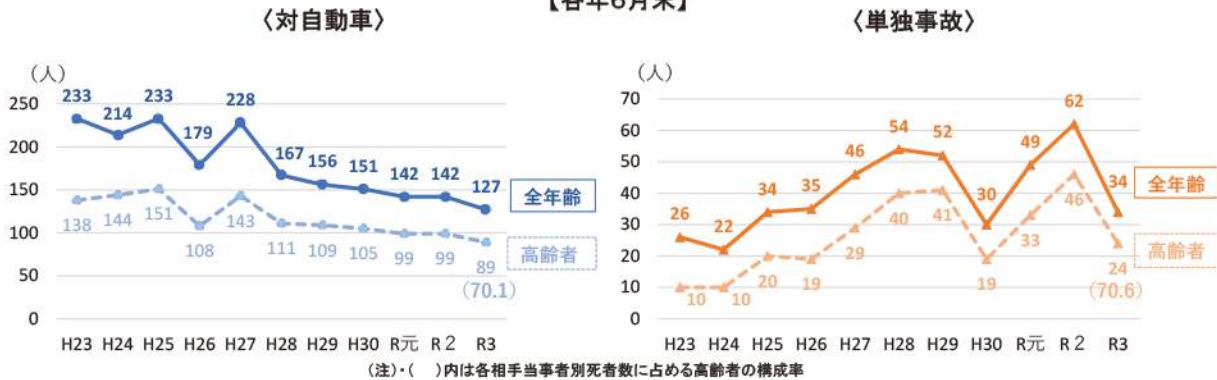
- ・歩行中の事故類型別では、横断歩道以外横断中は176人 (46.3%)、横断歩道横断中は86人 (22.6%) で横断中が68.9%と多く、横断中以外は118人 (31.1%)。



<自転車乗用中死者数>

- ・自転車乗用中死者数のうち、対自動車での死者数は127人で、自転車乗用中死者数全体に占める割合は73.8%と高く、単独での死者数は34人で19.8%。
- ・対前年比では、対自動車は-15人 -10.6%、単独は-28人 -45.2%と減少している。
- ・高齢者の事故を見ると、対自動車は89人(70.1%)、単独は24人(70.6%)で共に高齢者が7割を占めている。対前年比では、対自動車は-10人 -10.1%、単独は-22人 -47.8%と減少している。

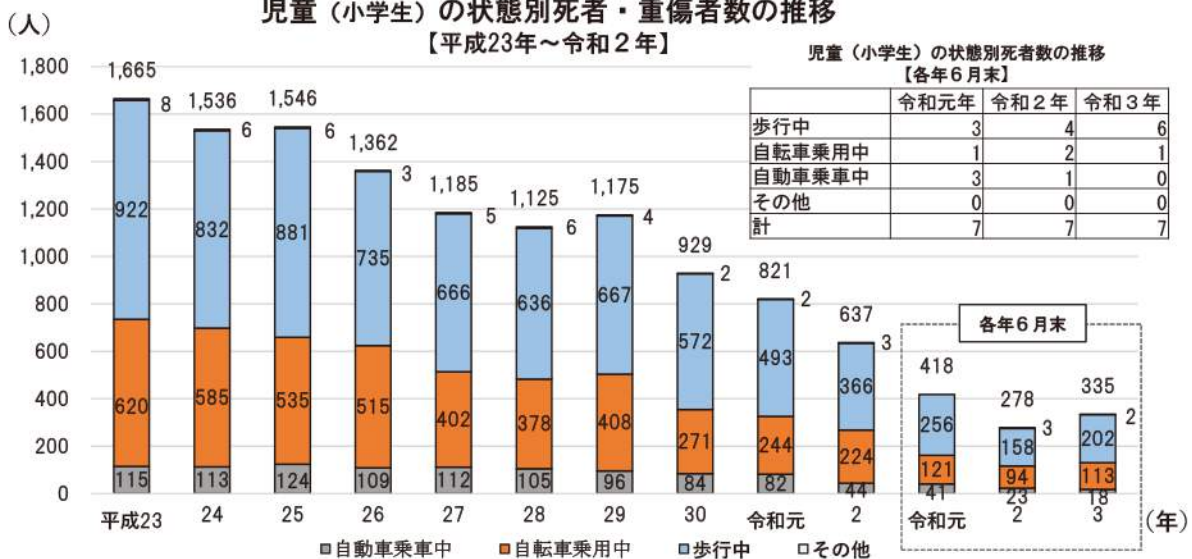
年齢層別相手当事者別事故類型別自転車乗用中死者数(第1・第2当事者)の推移
【各年6月末】



【児童 (小学生) の状態別死者・重傷者数】

- ・児童(小学生)の死者・重傷者数335人の内訳は、死者数7人(対前年比で同数)、重傷者数328人。
- ・状態別死者・重傷者数では、歩行中は202人(60.3%)と多く、自転車乗用中は113人(33.7%)。
- ・対前年比では、全体で+57人 +20.5%と増加しており、歩行中は+44人 +27.8%、自転車乗用中は+19人 +20.2%と共に増加している。

児童(小学生)の状態別死者・重傷者数の推移
【平成23年~令和2年】



※令和3年7月16日までに入手したデータにより作成。